

## 住みやすく力強い街

### 住みやすさ

- ・稚内らしい街の総合デザイン
- ・公共施設の建設場所は生活を考えて決めよう
- ・自分たちが必要な施設を自分達で決めて造っていききたい
- ・公園から見下ろすと各町内会別に屋根の色が変わっているように定める
- ・福祉施設の利便性が悪い
- ・きれいな街灯を増やす(街並みが整うし治安も良くなる)
- ・若者の入っている寮と老人施設を併設し市内の真ん中に
- ・学校のグラウンド以外で市内に子供の遊べ、イベントができる広場があると良い

### 生活

- ・インターネットによる販路拡大
- ・稚内の良いものを他のまちへ
- ・稚内で買えないものを地元の店を通して市民へ
- ・個性のある店(商売)があれば良い
- ・食材に地元産をつくろう

### 観光資源 情報発信

- ・情報発信の大切さを考えたい
- ・稚内のホームページの充実(稚内に行きたくなる情報を)
- ・景観をつくっていく必要がある
- ・観光資源を活かすことが大事
- ・自然環境に恵まれている宗谷をおおいにPRすべき  
…サロベツ湿原ラムサール登録、宗谷丘陵の風力発電、利尻富士の秀峰に隣接するまち
- ・景観条例
- ・稚内市全体としての情報発信(景観、人、産業)

# 人が集まるまち

## 医療

- ・医師の派遣先を探す
- ・診療科目を増やす工夫
- ・近くの公立病院の経営を参考にする
- ・稚内に住む医師を探す
- ・地元出身医師を呼び戻す
- ・医師余り時代の地元受け入れ
- ・医療を充実しないと高齢者は住めない
- ・来る医者ニーズにも答える努力

## 商業・経済 都市計画

- ・(競争意識が低い、店の態度が悪い、物価が高い、外からの風が入ってきにくい⇒)地元商店にしかできないサービスや取り組みを模索する
- ・公共事業の代替案を考えて公共事業のみに頼らない
- ・(南へ人口が流出している⇒)空いている土地を安く売ったりして人口を増やす
- ・北地区にもっと人口を移動させる(借家の利用)
- ・地元商店の努力(駐車場の確保、大型店ではできないサービス)
- ・北地区・商店のある街中に人が住める場所(借家)を利用
- ・全国の退職者の誘致

## 公共施設

- ・遊ばせる親の側の意識
- ・子供が歩いて行ける大きな公園施設がほしい
- ・公園の整備を町内会でやってもらう
- ・文化に触れる機会が少ない
- ・施設の休館日をずらす(月曜日に集中している図書館、プール、体育館)
- ・官主導でなく、民主導の低コストの除雪、施設管理
- ・市財源を町内会にもどす(町内会での分担金⇒直接交渉)
- ・文化施設増設が無理なら展覧会、映画、オーケストラ等の誘致を頻繁に行う

## 観光

- ・PRの仕方の工夫(旅行会社)
- ・観光ポイントはたくさんあるので、もっと売り込む
- ・利尻・礼文は「行ってみたいところNo.1」、「もう一度行ってみたいところNo.1」(じゃらん)⇒稚内の魅力をアピールする。通過点じゃ終わらせない!  
↓
- ・旅行会社への売り込み
- ・宗谷岬に強い個性(食、安売り)
- ・観光業従事者が全国の観光地を視察して勉強

## 教育

- (教育のレベルがあまり高くない)  
↓
- ・親、学校の意識を高める
- ・稚内で受けた教育が稚内に生かされるように(地元出身の医者など)

## 交通

- ・市内の交通の便の悪さは民間のマイクロバス等を利用して送迎バスとして活用する
- =水産会社、建設会社による町内会とのタイアップ

## 自然

- (風が強い・夏冬通して寒い)  
↓
- ・風の街に風のない外の遊び場(屋外施設の工夫)
- ・風の強さはクリーンエネルギーとしてもっと活用し、最北端の地と結びつけてPRする

## 生活

- ・元氣な高齢者に頑張ってもらおう
- ・新鮮な魚介類・野菜を食せる場所をつくる
- ・文化・芸術・美術に触れる場所が少ない
- ・通年利用の出来る体力増進施設の整備(医療費減→税金用途の変更)
- ・除雪対策で雪の多さを克服

## 自然を生かした観光整備

- (自然環境が良い)
- ・観光客にポイント案内の情報発信が必要
- ・自然を生かして観光誘致(日本の一番北、雪が多い、寒い)
- ・利尻～礼文～稚内～サロベツ～豊富～猿払と連携のとれた観光資源の発掘と整備
- ・ロードヒーティングの電気を風車でしては
- ・老朽施設(建築物)の整理(景観)
- ・観光受け入れ施設の整備を点から面へ
- ・交通アクセスが悪いのだから、長期滞在型の観光があってもいい(湯治、花粉味開とか)
- ・厳しい自然環境を生かした観光メニューづくり
- ・自然は良い・悪い両方あるけれども、それをただ存在させておくだけでなく、産業として生かすことが必要(犬ぞり、風車、シーニックバイウェイ)
- ・観光客と触れ合おう(一声運動とか)

## 交通アクセスの改善

- ・JR、バス、飛行機の時間調整でさらに交通の便を良くする(観光、ビジネス)
- ・列車、バスの時間が同じような時間であり、バスの時間を少し前後させる事により利用しやすくなるのでは。
- ・ダイヤの見直し(フェリーは朝が早く夜が遅いダイヤでゆとりがない)

## ・サハリンとの交流

- ・輸出を増やせないか
- ・ロシア語覚えませんか?

## 地場産品

- ・野菜の生産(いも、かぼちゃ:一次産業の育成)
- ・水産物のとれ過ぎを防ぐ(計画的な生産で資源保護(カニ、ナマコ))
- ・新たな魚種の養殖で水産業の活性化
- ・宗谷のタコのブランド化で高値安定
- ・宗谷ブランドの確立(水産物・農産物の地場産品情報提供)
- ・一次産業商品の稚内ブランドの創造
- ・地場産業の繁栄が何よりも大切(水産も酪農も観光も自然に由来している)
- ・魚、海産物ラーメン(稚内ブランド)・・・おいしいものでまちおこし

## 自然と共に、元気な国際人

### 元気な人づくり

- ・(人口減少、離婚率が高い⇒)働く場所をつくる。北海道の荒波を使って水産物の養殖
- ・高齢者が元気なのでボランティア活動などでお互い助け合う(家の修理とか)、活動の場を提供する
- ・定年後も住み続けてもらうために、地域のつながり、交流の場を作って、元気なお年寄りになってもらう。お年寄りに希望を!

### 自然再発見!

- ・大沼の開発と活用(汚泥を取り除き、貝や魚を放流、観光・市民の憩いの場とする)
- ・市民が参加する稚内の自然再発見ツアー⇒人気投票をしてみよう
- ・各家庭に風車を設置して電気を街灯やイルミネーションに使う。
- ・「寒い・雪が多い」という悪いところ⇒夏場の冷房・貯蔵のエネルギーとして雪を使う

### 隣国との交流で 経済発展!

- ・サハリンについて身近な情報提供(観光、ショッピングなど現地の情報をもっと知らせて欲しい)
- ・サハリンとの市民交流・経済交流をもっと活発にする
- ・サハリンとの交流をさらに進めるためサハリンビザなし交流を早期実現⇒気軽に行き来できるようにする
- ・サハリンへ稚内から直行便